

家庭等における青少年の携帯電話・  
スマートフォン等の利用に関する調査結果  
報告書（概要版）

平成30年4月

東京都青少年・治安対策本部

# 目 次

1	調査の概要	2
	■ 調査の目的	
	■ 調査対象者	
	■ 調査方法	
2	携帯電話・スマートフォンの利用状況について	3
	■ 携帯電話・スマートフォン別の利用割合	
	■ スマートフォンを持たせた時期	
	■ スマートフォンを持たせた理由	
	■ 携帯電話・スマートフォンの使用目的	
	■ 1日の利用時間	
3	悪影響・トラブルの有無について	6
	■ 悪影響の有無・内容	
	■ トラブルの有無・内容	
4	家庭におけるルール作りについて	9
	■ 家庭内でのルールの有無・内容	
	■ ルールは守られているか	
5	フィルタリングサービスについて	11
	■ フィルタリングサービスの加入状況	
6	保護者の意識について	11
	■ 適切な監督	
	■ 保護者として必要な課題	

# 1 調査の概要

## ■ 調査の目的

東京都内の小・中学生及び高校生の携帯電話等（スマートフォンを含めた携帯電話・PHSをいう）の所有率を調査するとともに、小・中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者に対して、子供が利用する携帯電話等のフィルタリングへの加入状況や意識を調査し、フィルタリングの重要性と必要性の啓発及び青少年健全育成条例における保護者の責務の更なる周知・徹底を図るとともに、今後の施策の参考とする。

## ■ 調査対象者

都内在住で、小学生（4～6年生）、中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者 1,500 名

### 【子供の属性】

	小学生			中学生			高校生			合計
	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
男子	60	87	89	78	81	103	60	88	117	763
女子	92	72	100	68	81	89	66	93	76	737
合計	152	159	189	146	162	192	126	181	193	1500

## ■ 調査方法

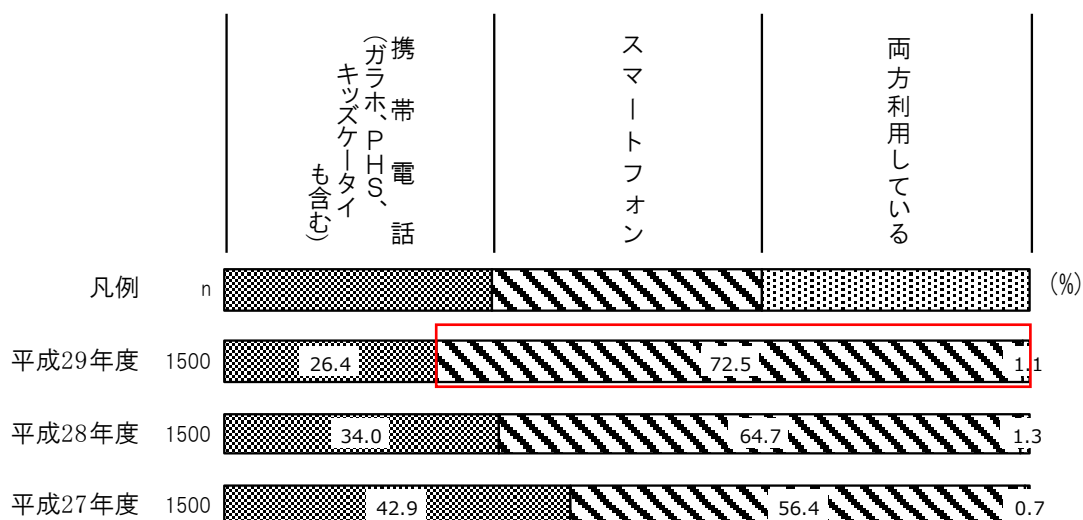
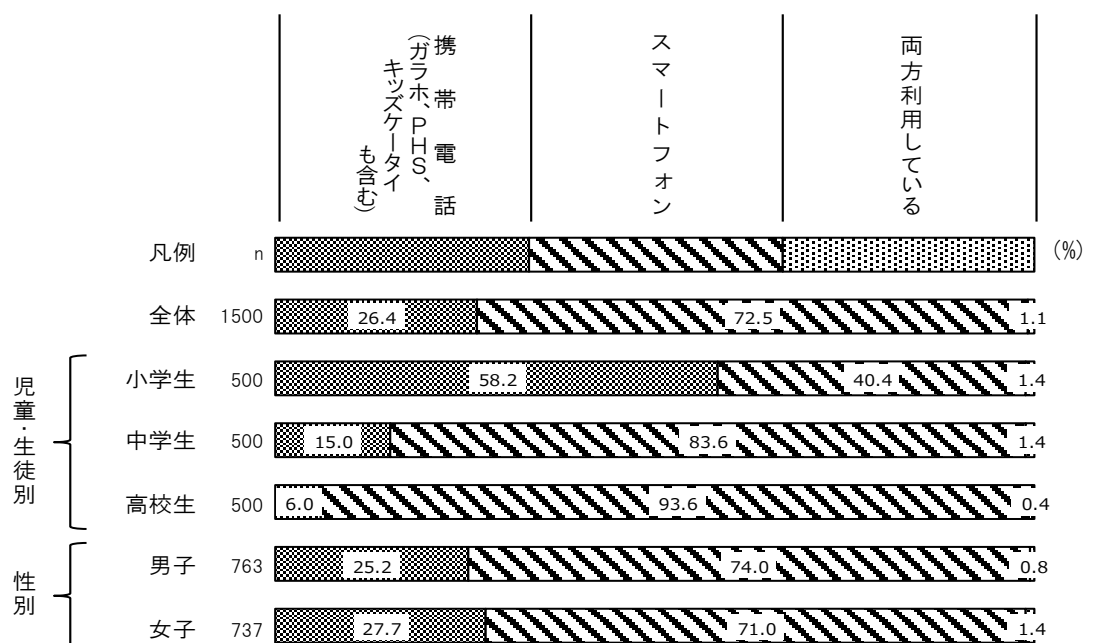
- 1 調査期間：平成 30 年 2 月 16 日（金）から同年 2 月 19 日（月）まで
- 2 調査方法：インターネットパネルを使用してのネット調査アンケート  
※ 調査会社提携先の登録会員に対して、Web 画面上のアンケートを実施。

## 2 携帯電話・スマートフォンの利用状況について

### 《携帯電話・スマートフォン別の利用割合》

お子さんが現在利用している携帯電話・スマートフォンのタイプを教えてください。(1つだけ)

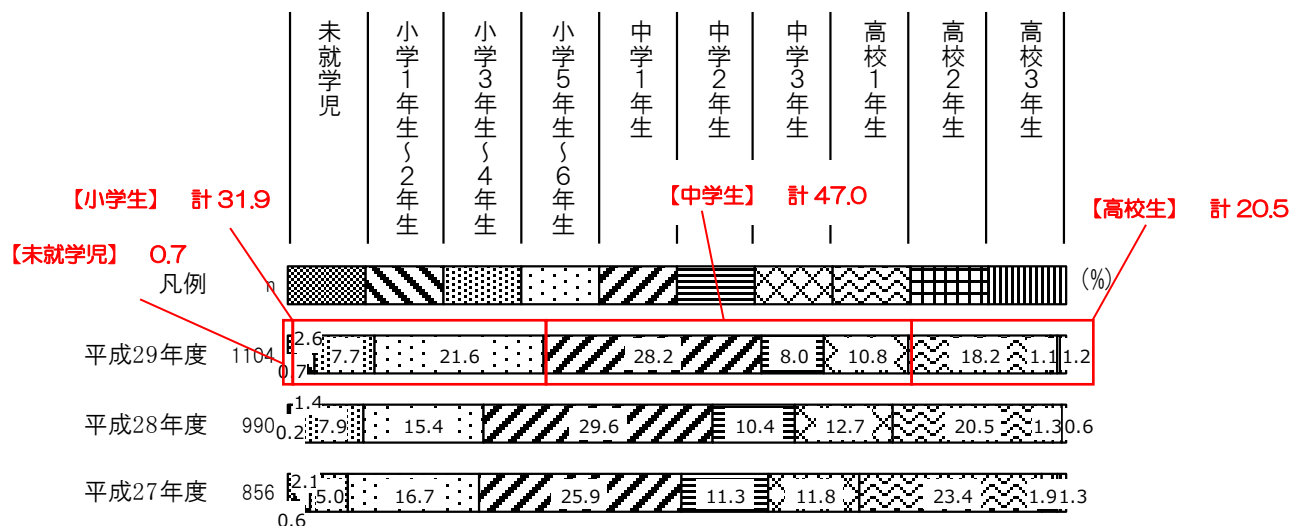
- 子供が利用している携帯電話のタイプについて、「スマートフォン」が72.5%、「携帯電話」は26.4%、「両方利用している」は1.1%であった。
- スマートフォンの利用割合は、小学生で40.4%、中学生で83.6%、高校生では93.6%となっており、年齢が上がるにしたがって割合が高くなっている。
- 過年度調査と比較すると、スマートフォンの利用割合は平成28年度より7.8ポイント増加している。



## 《スマートフォンを持たせた時期》

お子さんにスマートフォンを持たせた時期はいつですか。

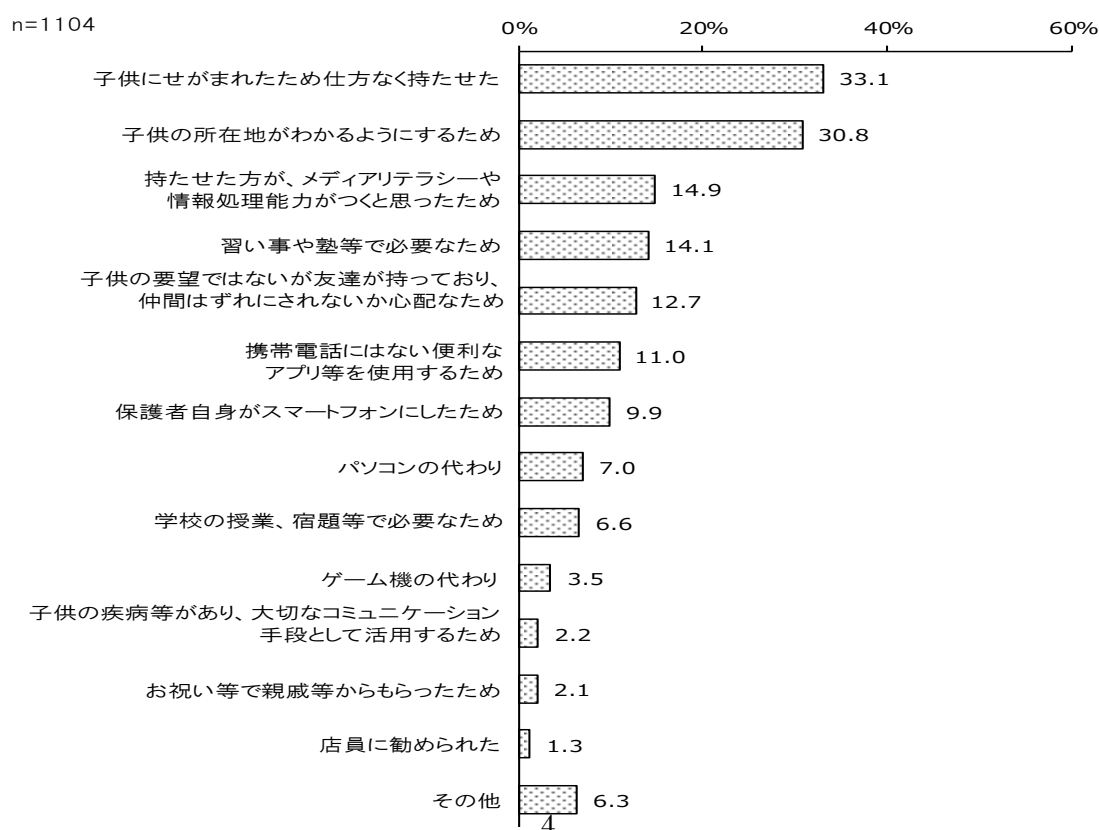
- 「中学1年生」が28.2%と最も多く、「小学5年生から6年生」が21.6%と続く。
- 《未就学児》で持たせ始めている割合は0.7%、《小学生》31.9%、《中学生》が47.0%であり、昨年度調査と比較すると、スマートフォンを持たせた時期の低年齢化が進んでいる。



## 《スマートフォンを持たせた理由》

お子さんにスマートフォンを持たせた理由（きっかけ）は何ですか。

- 「子供にせがまれたため仕方なく持たせた」が33.1%と最も多く、次いで「子供の所在地がわかるようにするため」が30.8%となっている。

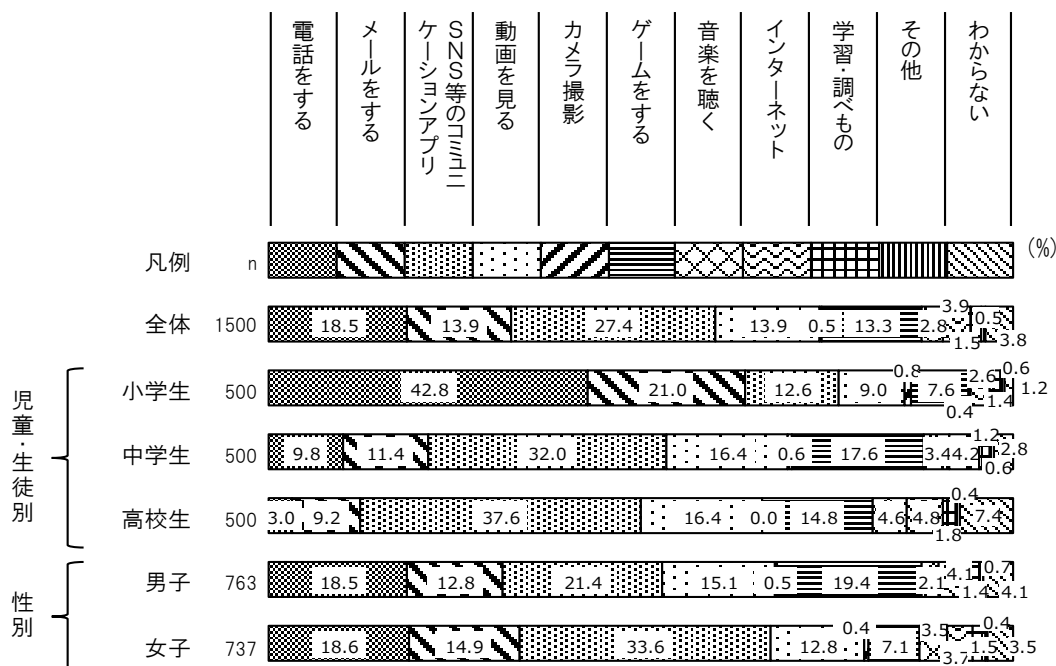


## 《携帯電話・スマートフォンの使用目的》

お子さんは、携帯電話・スマートフォンで主に何をしていますか。(1つだけ)

- 児童・生徒別では、小学生は「電話をする」が42.8%と多く、「SNS等のコミュニケーションアプリ」は12.6%であった。

中学生は、「SNS等のコミュニケーションアプリ」は32.0%、高校生は37.6%となっており、年齢が上がるにしたがって、SNS等の利用割合が高くなっている。

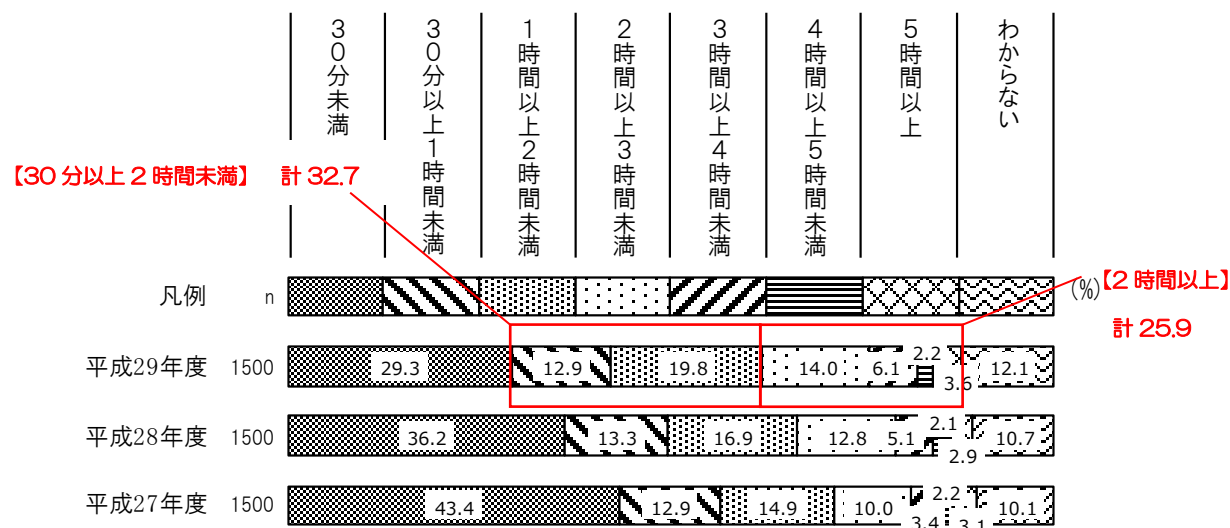


## 《1日の利用時間》

お子さんは、携帯電話・スマートフォンを1日にどのくらい使用していますか。(1つだけ)

- 子供が携帯電話・スマートフォンを1日に利用する時間は、「30分未満」と回答した保護者が29.3%であり、平成28年度より6.9ポイント減少している。

また、「1時間以上2時間未満」と回答した保護者は19.8%であり、平成28年度より2.9ポイント増加している。

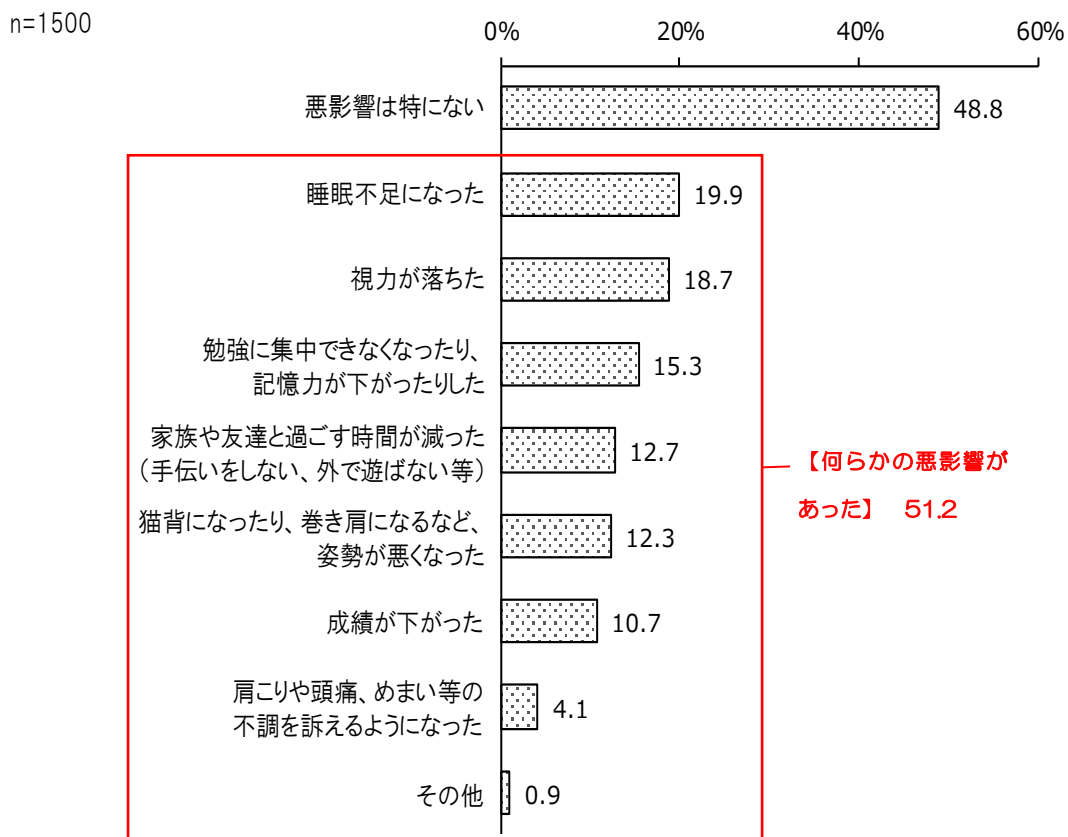


### 3 悪影響・トラブルの有無について

#### 《悪影響の有無・内容》

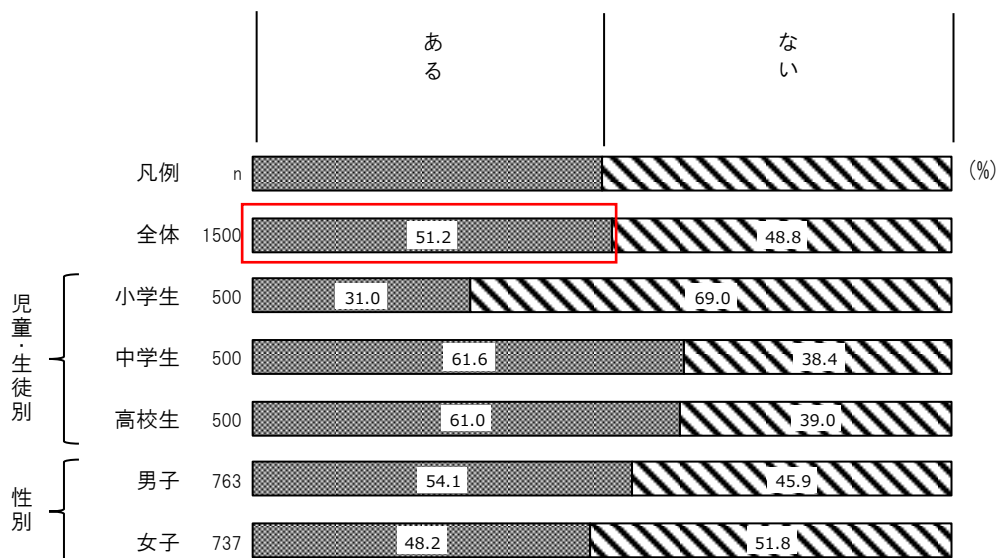
お子さんに携帯電話・スマートフォンを持たせたことにより、どのような悪影響がありましたか。(いくつでも)

- 「睡眠不足になった」が19.9%、「視力が落ちた」が18.7%、「勉強に集中できなくなったり、記憶力が下がったりした」が15.3%となっている。  
一方、「悪影響は特にない」と回答した保護者も48.8%いた。

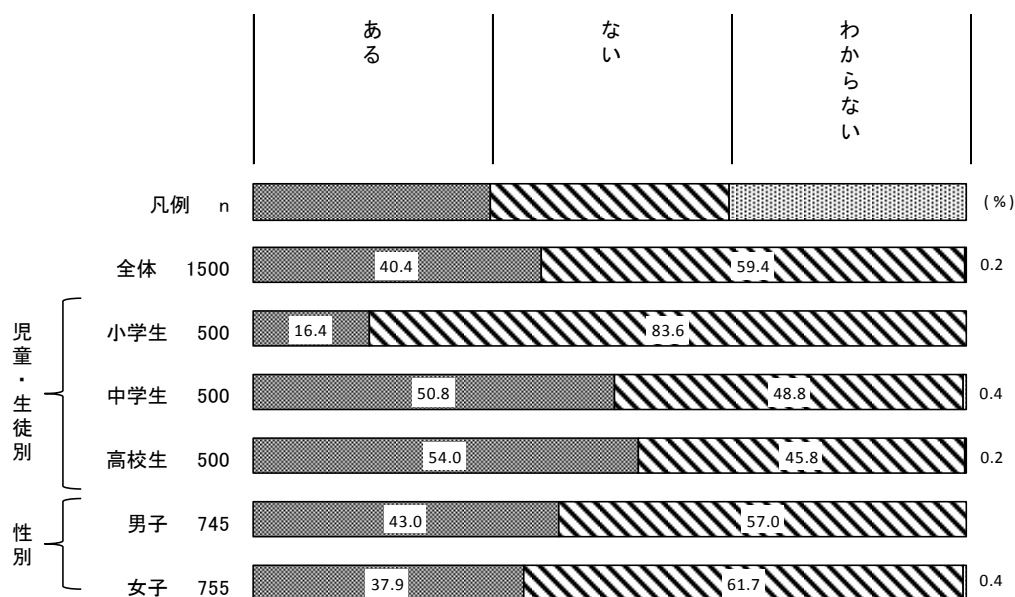


■ 子供に携帯電話・スマートフォンを持たせたことにより、何らかの悪影響があったと回答した保護者は、小学生 31.0%、中学生 61.6%、高校生 61.0%であり、全体では 51.2%であった。

■ 平成 28 年度調査と比較すると、小学生は 14.6 ポイント、中学生は 10.8 ポイント、高校生は 7.0 ポイント、全体では 10.8 ポイント増加した。



#### 平成 28 年度調査結果



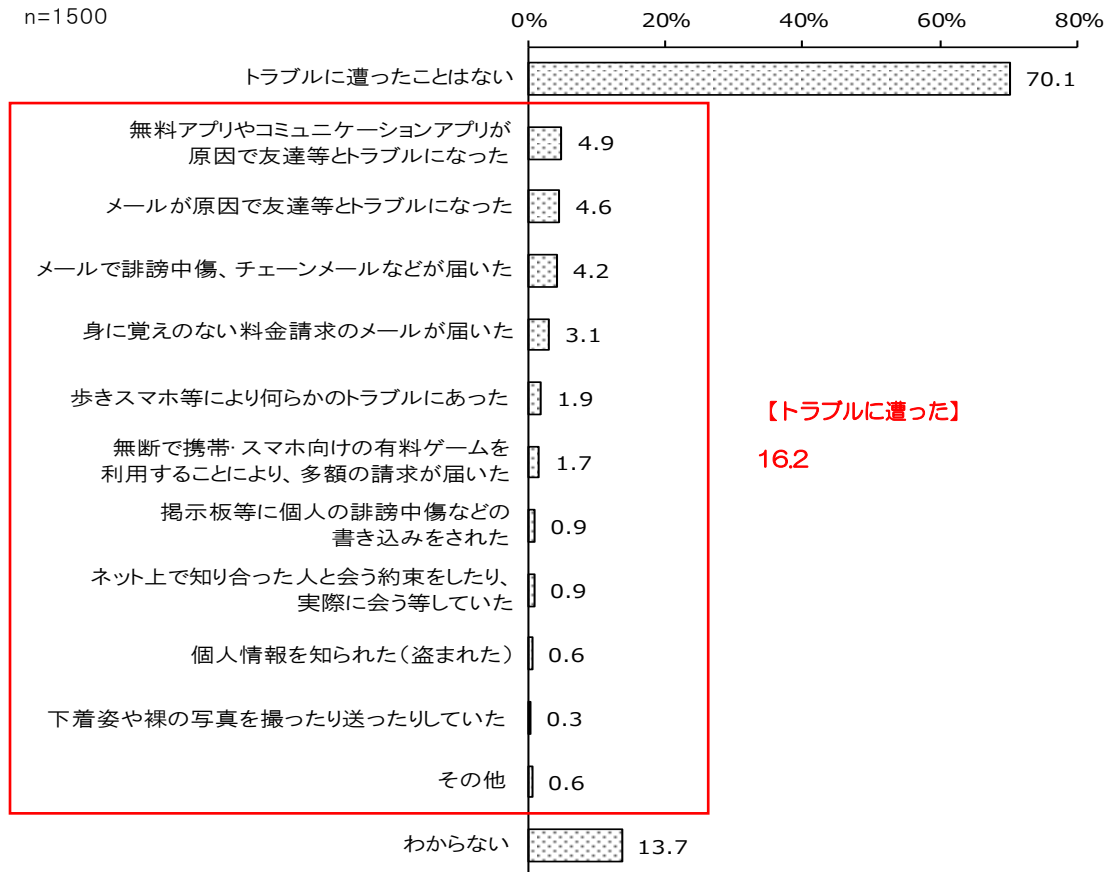
【平成 28 年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書より抜粋】



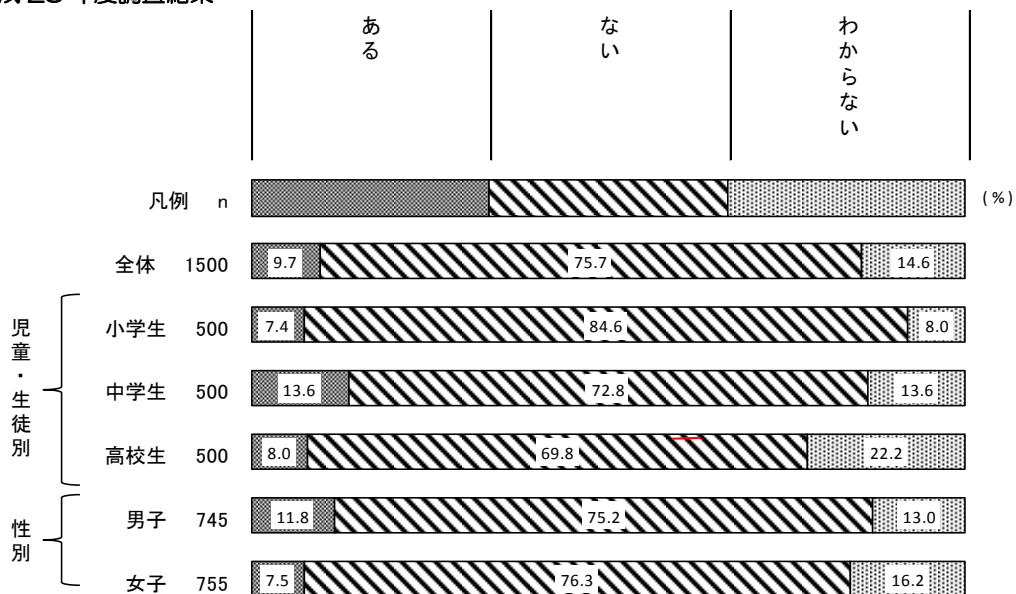
## 《トラブルの有無・内容》

お子さんが携帯電話・スマートフォンを利用する中で、どのようなトラブルに遭ったことがありますか。(いくつでも)

- 「トラブルに遭ったことはない」が70.1%を占めたが、16.2%が何らかのトラブルに遭ったと回答し、平成28年度調査結果より6.5ポイント増加した。



### 平成28年度調査結果



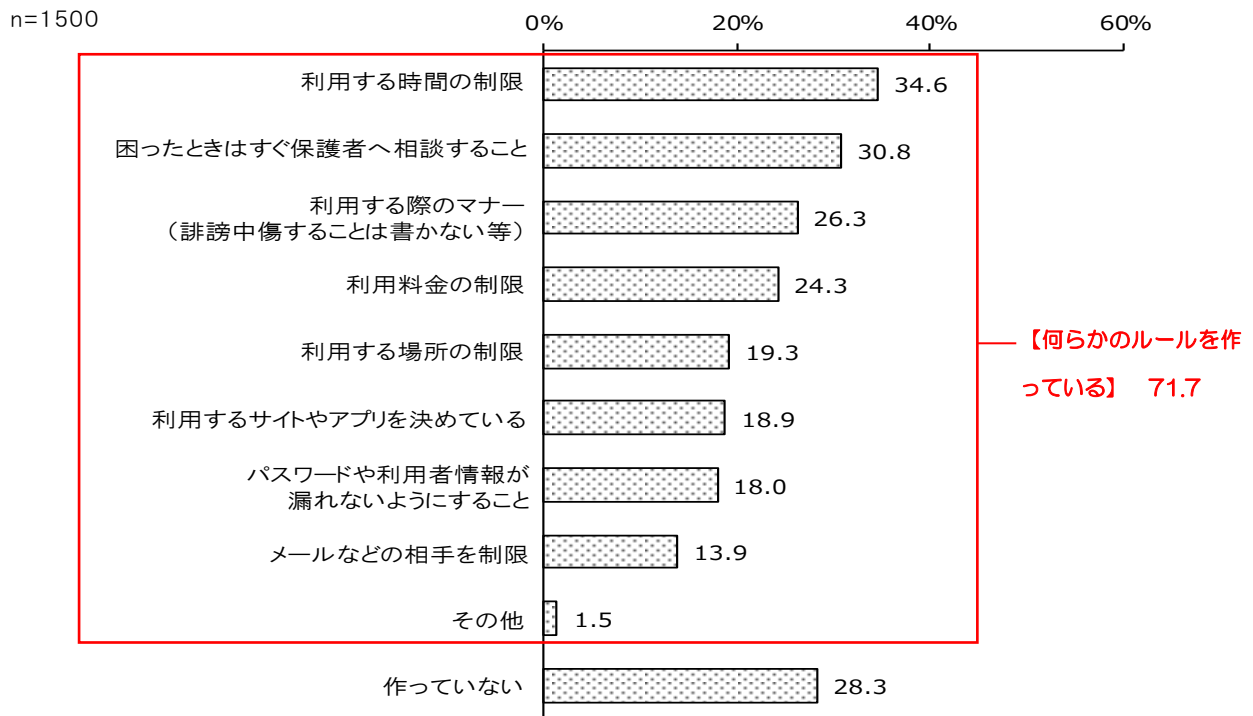
【平成28年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書より抜粋】

# 4 家庭におけるルール作りについて

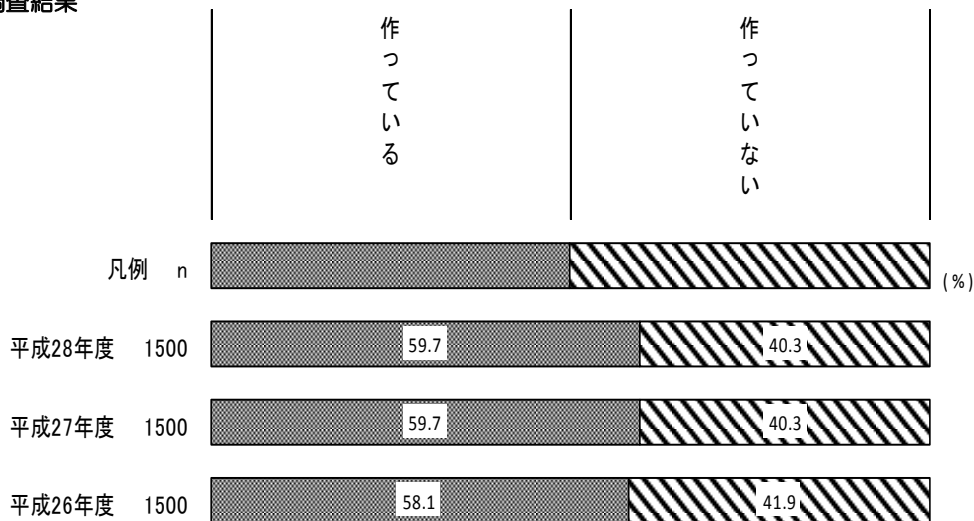
## 《家庭内でのルールの有無・内容》

お子さんが携帯電話・スマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。(1つだけ)

■ 家庭内で何らかのルールを作っていると回答した保護者は 71.7%で、平成 28 年度調査より 12.0 ポイント増加している。



### 過去の調査結果

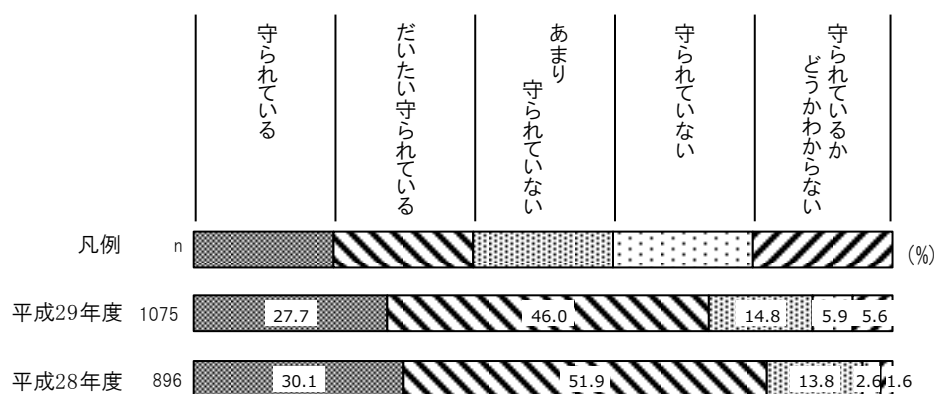
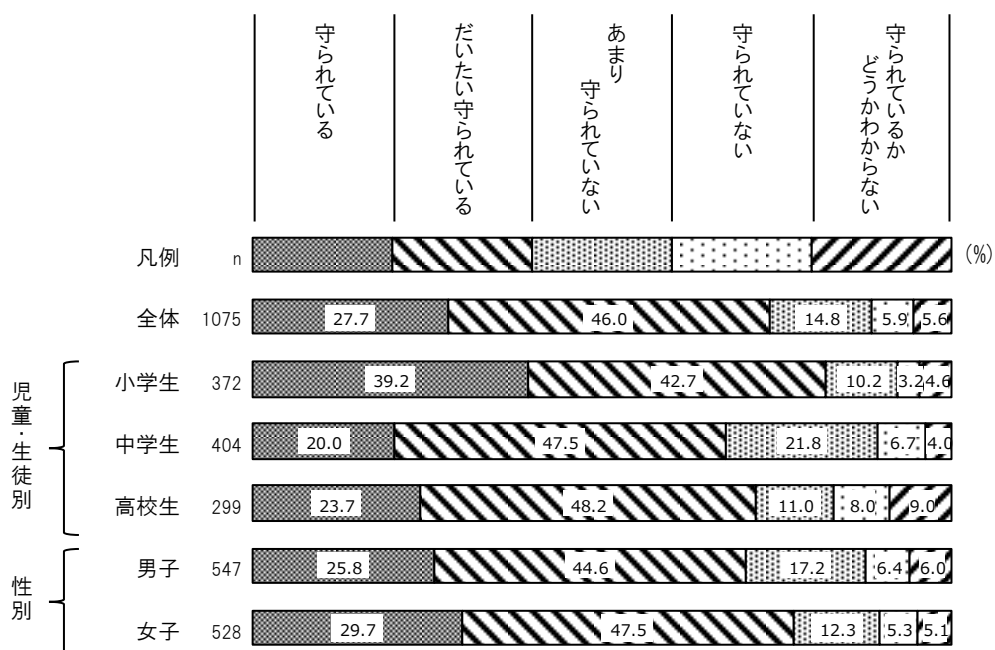


【平成 28 年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書より抜粋】

## 《ルールは守られているか》

家庭内で作ったルールは守られていますか。(1つだけ)

- 家庭内で作ったルールについて、「守られている」「だいたい守られている」を併せると73.8%となっており、「あまり守られていない」「守られていない」を併せると20.7%となっている。
- 平成28年度の調査において「守られている」「だいたい守られている」と回答した保護者は併せて82.0%であり、本年度は8.2ポイント減少した。

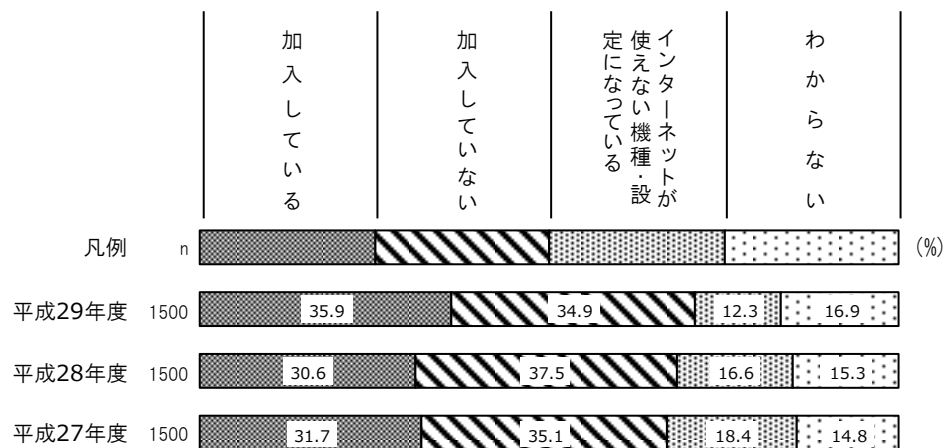


## 5 フィルタリングサービスについて

### 《フィルタリングサービスの加入状況》

お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンは、現在フィルタリングサービスに加入していますか。(1つだけ)

- 「加入している」が35.9%、「加入していない」が34.9%、「インターネットが使えない機種・設定になっている」が12.3%、「わからない」が16.9%となっており、平成28年度調査と比較すると、「加入している」が5.3ポイント増加した。

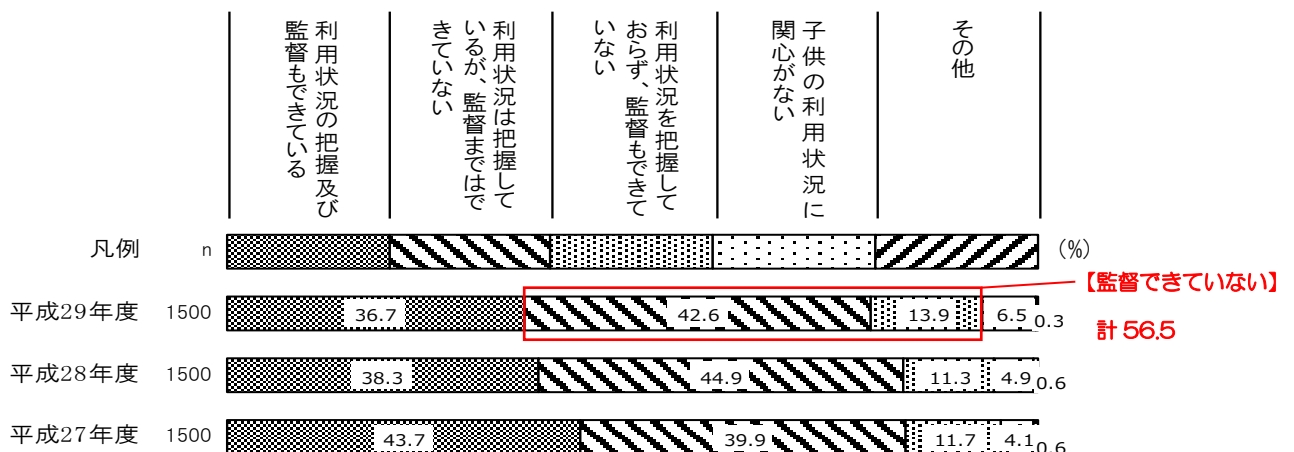


## 6 保護者の意識について

### 《適切な監督》

お子さんの携帯電話・スマートフォンの利用時間、利用金額、利用サイト等を把握し、適切に監督することができますか。(1つだけ)

- 子供の携帯電話・スマートフォンの利用を適切に監督できているかは、「利用状況は把握しているが、監督まではできていない」が42.6%で最も高くなっている。
- 「利用状況の把握及び監督もできている」は36.7%となっており、平成28年度と比較すると1.6ポイント減少している。



## 《保護者として必要な課題》

携帯電話・スマートフォン・インターネットを、お子さんが正しく使用するために、保護者として必要な課題は何だと思いますか。（2つまで）

- 保護者として必要な課題は、「インターネットや携帯電話等について、子供に教育できる十分な知識を身につけること」が43.5%と最も高く、次いで「親子のコミュニケーションを緊密にすること」が37.4%、「子供の使用状況について、保護者がもっと関心を払うこと」が30.9%となっている。
- 過年度調査と比較すると、「今のままで問題ない」と回答した保護者が2.7ポイント増加し、他の項目は、平成28年度と同じか、減少している。

